

藤枝市立稲葉小学校

静岡県埋蔵文化財センター

出前授業レポート

令和4年6月2日(木)

「キャリア教育と歴史学習、双方の視点でバランス良く体験できて本当に良かった！」

稲葉小学校の6年生19人が、歴史学習とキャリア教育の一環として、6年部の永田先生が出前授業を計画し、発掘調査の概要と職場勤労体験(講話)、土器の分類、火起こしの3つの体験活動を行いました。

発掘調査の概要と キャリア教育(講話)

埋蔵文化センターの仕事に関わる話と稲葉小学校周辺の遺跡について、パワーポイントの画像を見ながらメモをとり聞いていました。稲葉小学校の裏山に遺跡があることを聞いて、とても驚いていました。



・「機械を使わずに手で掘ることに驚いた。」

・「古墳が結構あるな〜」

土器の分類体験

平安時代まで歴史学習が進んでいましたので、簡単に時代の流れを確認しました。その後、縄文土器・弥生土器・須恵器の完成品を見ながら、一度土器片を分類しました。その後、もう一度集まって作り方や焼き方を聞いたところで違いがわかり、土器片の分類をスムーズに進めることができました。

・「縄文土器はわかりやすかった。」

・「弥生土器と須恵器は難しかった。」

・「見方が違うことを初めて知った。」

・「特徴を知ることができた。」



・「緑色が須恵器だと知って驚いた。」

火起こし体験

体育館の昇降口付近で行いました。火の意義を考えた後、もみきり法や弓きり法、舞きり法などの火起こし方法を学び、舞きり法で実際に火起こしです。初めは弾み車を調子よく回せますが、だんだん押す手がきつくなり、回転力が鈍ってきますが、頑張っって回し続けると火種を作ることができました。風の向きを読み「フーフータイム」。火種が火口につき、燃え上がりました。



・「初めてやったけど、大変だった。」

「本当に、よかったです！」

永田先生の感想

「体験をして学習が深まりました。土器がなぜ異なる形・色・厚さなのかがよくわかりました。子どもに寄りそって話をしてくださり、興味深く聞けました。稲葉小周辺の遺跡の話をしてくださり、子どもも嬉しそうでした。体験中は、相談したり協力したりする姿があり、また普段見られない興奮する姿や盛り上がる姿が見られ、学びとしても思い出としても、とても良い機会をいただきました。本当にありがとうございました。」



・「火きりろを押すのに力があることがわかった。」